

命を繋ぐ税に感謝の気持ちを

豊島区立池袋中学校3年 南塚 美咲

中学生の私が税という言葉聞いて思い浮かべるのは、消費税です。消費税とは商品・製品の販売やサービスの提供などの取引に対して広く公平に課税される税で、消費者が負担し事業者が納付する仕組みです。私は税の作文を通して消費税の他に、税にはどのような役目があるのかより多くの知識を身につけたいと思いました。「税金って何？」と聞かれた時、皆さんは何と答えますか。実は税金についての知識がない、関心がない、そういった人は非常に多いようです。

私はこの夏休みに祖母の家に行きました。祖母と二人きりでいる時、祖母はふと年金について私に話をしてくれたのです。年金について今まで考えたことがなかった私は話を聞くうちに年金がどれだけ重要なものかを知ることができました。そして、深く興味を持ち自分で調べてみることにしました。年金とはある事由に該当する場合に毎年定期的に支給されるお金のことです。一般的には老後の安定した生活を送るためのお金というイメージが強いですが、種類によっては怪我や病気が原因で障害状態に陥ってしまった時や、万が一の死亡時にも支給されるそうです。

では、税と年金にはどのような関わりがあるのでしょうか。国の税金が最も使われているのは「社会保障関係費」だということ調べて初めて知りました。これは私たちの生活を守るためのもので、医療や年金、介護、生活保護となっているものです。社会保障費のために多くの税金を納めなければなりません、それにより病院での自己負担が3割で済む、そして年金を受給できるなどの恩恵があるという仕組みになっています。私たちはこのような税金の使い道が見えない、わからないことが快く税金を納められない理由の一つにあるのではないかと考えました。

もし年金制度がない場合、自分自身や家族の加齢による障害やリスクに対して、自分たちだけで必要な金額を用意しなければならないということです。これらの費用をすべて個人で賄うのには限界があるので、社会全体で対応できるようにするために年金制度が必要とされているのです。私はこのようなことについて知識があるかないかでは大きな差があると感じました。また、年金制度に加入していない人がいるという現状が信じられません。なぜならそれは私たちの義務であり、世代と世代の支え合いで成り立つものだからです。

自分の将来と家族のためにも、私は二十歳を超えたら年金制度に加入してきちんとお金を払っていきたいと思います。私は税について考え学び、「喜んで払います」と笑顔で言うことのできる人間に成長したいと思いました。税とは人を幸せにするものです。税の作文を通して私たち若い世代はもっと税について勉強し、自らの社会や国のあり方を考えるべきだと実感しました。これからは税金が最大限の力を発揮することを、私は信じています。